



## 第19回 東京大学の海研究

### 「辺境に行く」

# 海洋アライアンスシンポジウム

2024.11.21.(Thu) 13:00-17:30 東京大学 農学部・弥生講堂 一条ホール

### ● PROGRAM

#### 【開会】

- ・開会挨拶 木村 伸吾（海洋アライアンス連携研究機構 機構長 東京大学 大気海洋研究所 教授）
- ・趣旨説明 沖野 郷子（海洋アライアンス連携研究機構 副機構長 東京大学 大気海洋研究所 教授）

#### 【第一部】

#### 研究者辺境に行く

- ・「深海と超深海の境目はどこ」狩野 泰則（東京大学 大気海洋研究所 准教授）
- ・「海底下の岩石圈生命の発見とそこから広がる可能性」鈴木 庸平（東京大学 大学院理学系研究科 准教授）
- ・「深海でも生分解性プラスチックは微生物により分解されることを実証」岩田 忠久（東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授）
- ・「変わりゆく北極海、海氷と海洋のダイナミズム」川口 悠介（東京大学 大気海洋研究所 助教）
- ・「作ったロボットとともに南極海へ挑む」山縣 広和（東京大学 生産技術研究所 特任研究員）

#### 【第二部】

#### 辺境に挑んだ先達の物語

- ・「海を越えた最初の日本列島人 -実験航海で探った3万年前の挑戦-」海部 陽介（東京大学 総合研究博物館 教授）
- ・「世界史を拓くヴァイキングの船舶」小澤 実（立教大学 文学部 教授）
- ・「ポルトガル海上帝国とカフル人 -『弥助問題』を端緒に-」岡 美穂子（東京大学 史料編纂所 准教授）
- ・「オランダ東インド会社とモンスーン・アジア：シナ海とインド洋を結んだアジア域内貿易」島田 竜登（東京大学 大学院人文社会系 研究科 准教授）

#### 【第三部】

#### アライアンス学生

#### 海外インターンシップ

#### 報告

2023年度 国際海事機関 (IMO) 派遣 高畠 彩（東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 修士課程 2年）

2024年度 国連食糧農業機関 (FAO) 派遣 小川 翔太郎（東京大学 大学院農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 博士課程 1年）

#### 【閉会】

- ・閉会挨拶 茅根 創（東京大学 大学院理学系研究科 教授）



聴講のみの場合はオンラインでも可能です。会場参加・オンライン参加のどちらも事前の参加登録が必要になります。

【参 加 料】無料（※閉会後の懇親会に参加される方は参加費 1,500 円別途

【参加方法】事前登録制（参加登録は参加登録は 2024 年 11 月 20 日まで）



シンポジウムへの参加登録はこちらからご登録ください。

第 19 回東京大学の海研究「辺境に行く」のご案内 HP

<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/news/0064/index.html>

Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION